

梅花纹水罐（水指）

这件水罐由京烧陶艺大师野野村仁清制作。1950 年，这件工艺精湛的 17 世纪茶具代表作被指定为日本重要文化财产。

仁清于 17 世纪中后期活跃于京都。他求学于陶瓷业中心有田（今属佐贺县）和瀬户（今属岐阜县），之后得到宗和流茶道创始人金森宗和（1584–1656）资助，在京都建立了自己的窑炉。之后，仁清因善于制作各类茶具而在王公贵族中闻名。这件水罐也属于茶器，在茶会时主要用于盛装清水。人们会将罐中的清水注入水壶来煮茶，以及洗涤茶盏。

梅树图案采用釉上彩“色絵”工艺。制作时，陶艺家先将器皿初步上釉烧制，再用彩色釉料绘制图案。随后，作品需在低温下经过第二次烧制，以融合两层釉料。

仁清经常使用这种淡米黄色的厚底釉作为基础，并在上面施以彩绘。此件作品以红、黑、绿釉描绘梅树及花朵，并以金漆更为清晰地勾勒出轮廓。可以看到，仁清巧妙地用浅绿点染枝干，惟妙惟肖地勾勒出覆满青苔的老树虬枝。他在部分花朵上点上银漆，当颜料逐渐氧化后，就会呈现出略带光泽的灰色。

コメントの追加 [u1]: 【要確認】
012-013 同様

コメントの追加 [VT2R1]: 上記同様

コメントの追加 [u3]: 【要確認】
012-013 同様

コメントの追加 [VT4R3]: 上記同様

コメントの追加 [u5]: 【要確認】
ここの日本語は 012-013 と違って、「変化をつけている」ですが、問題ないでしょうか。念のため確認をお願いいたします。

コメントの追加 [VT6R5]: 英語の表現は「with gold paint to add definition 」のため、問題ないと思っています。

コメントの追加 [u7]: 【要確認】
012-013 同様

コメントの追加 [VT8R7]: 上記同様